

科目名	憲法			ナンバリング	RPP231	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	矢邊均	担当教員					

授業の概要	憲法に関する基本的な知識を教養レベルから発展させ、大学生として自らの視点で社会的関心事と憲法とのかかわりを理解し、自らの意見を持つことができるレベルに到達できるように具体的事例を通して学んでいきます。						
到達目標	憲法的視点からのリーガルマインドを涵養することを目標とします。法的な思考が決して専門的な技術ではなく、自らの社会生活において当然に必要なスキルであることが理解でき、そこから自らが生活する社会の問題を認識し、その解決を思考する力を付けることにより、いわゆる現代社会における問題解決能力を身に付けることができるようになることが目標です。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	テキスト及び配布資料の熟読が大前提ですが、現在に至るまでに自分がどの程度憲法の知識を有しているのかを確認しておく必要があります。憲法に関する既修科目の振り返りにとどまらず広く政治経済の知識について高校で学んだ現代社会や政治・経済、倫理等についても見直し、思考するうえでアイテムをしっかりと準備しておきましょう。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
	○	5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
憲法の基本的知識をもとに社会的現象を認識できる。	様々な社会的出来事に対して憲法の知識をもとに批判的に論評することができる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○				70%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加				○			30%

課題、評価のフィードバック	講義の前半でその日の内容にかかわる質問に答えてもらい、コピー後にそれを返却、各自の回答に対するコメントと共に解説を行います。
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	憲法とは	憲法のイメージ	
	第2回	憲法の心	憲法が目指すもの	
	第3回	憲法の仕組み	憲法の機能	
	第4回	憲法のレゾナデートル	憲法総論①	
	第5回	憲法の実力	憲法総論②	
	第6回	人権①	人権リスト	
	第7回	人権②	自由権①	
	第8回	人権③	自由権②	
	第9回	人権③	社会権	
	第10回	人権④	受益権・参政権	
	第11回	人権保障の具体的システム	権力分立	
	第12回	立法	国会	
	第13回	行政	内閣	
	第14回	司法	裁判所	
	第15回	まとめ		
試験		講義内の小テストやレポートをベースに評価します。定期試験は行いません。		
授業の進め方		ケースメソッドによる講義形式		
授業外学習の指示		(授業外学習時間： 毎週 分)		

教科書	長尾一紘「初めて学ぶやさしい憲法」実務教育出版
参考書	
参考URLなど	
その他	憲法の条文はプリントして配布します。